

東京オリンピックで輝いた、アスリートたちの言葉の力!

「(兄妹での金メダルは) **歴史に名を刻めた**というか、**歴史を塗り替えられた**と思います」
(阿部一二三 / 柔道男子66キロ級・金メダル)

「もう本当、**感無量**です。
諦めなければ夢は叶うと
伝えられたと思う」
(上野由岐子 / ソフトボール女子・金メダル)

「**無我夢中**だった」
(入江聖奈 / ボクシング女子
フェザー級・金メダル)

「今後いつ、巡り合えるか、**気持ちや状況は一期一会**なので」
(田中希実 / 陸上女子1500メートル・8位)

「夢が叶って、**にわか**に**まだ**
信じたい部分があります」
(見延和靖 / フェンシング
男子エペ団体・金メダル)

「この大会が**集大成**と違って
一生懸命ずっとやってきた」
(水谷隼 / 卓球混合ダブルス・
金メダル)

▲8月8日に閉幕した東京オリンピック。出場したアスリートが競技のあとに残した数々の言葉に胸を打たれた。このタイミングでしか出せない言葉の力、語彙力が発揮されている

コレだけは
知っておきたい!
教育NEWS

イマ
どき

読解力を支える
「語彙力」は大丈夫?

多様な言葉にふれて、豊かな語彙を育てよう!

高校入試も大学入試も、たくさん文章や資料を読ませる出題が年々多くなっています。求められるのは読解力。それを支えるのが豊かな言葉の力(語彙力)です。子どもたちの「語彙力」の現状はどうなっているのか、語彙を増やすためにはどうすればよいのか。言葉のプロフェッショナルである学研プラス図書館・辞典編集室のみなさんに聞きました。

YouTube、アニメ、ゲーム……
知っている言葉に偏りがある

「うちの子、言葉をあまり知らないから作文が書けなくて……」「語彙が少ないせいか読解問題でいつもつまずく」など、お子さんの語彙力に悩みを抱えている保護者の方も多いと思います。実際、子どもたちの語彙力はどうなのでしょう。ご自身も小4男子の母である鈴木さんは、知っている語彙に偏りを感じると言います。

「うちの子もご多分にもれず、YouTubeやオンラインゲーム、漫画やアニメが大好きです。YouTubeで使われる言葉やネットスラング、漫画のせりふなど、流行りの言葉をよく知っています。が、いわゆる文学作品に出てくるような国語力にまつがる語彙は、今ひとつかなと思います」
森川さんは一頭の中に言葉が入る器があるとして、器の中に入る言葉の数は成長するにつれ増えていきます。発達段階に応じて子どもが覚える言葉の総量は今も昔も変わらないと思いますが、語彙が好きなど分野や興味がある分野だけに偏っていることがあるのでは、ないかと指摘します。

「語彙の(豊)には、かたまり」という意味がある」と森川さん。「たとえば、子どもが野球チームに入るとします。すると、ツーベースヒット、スライディング、ダブルプレーなどの野球用語を必要に迫られて、かたまり、で覚えていきますよね。子どもも、かたまり、で言葉を覚えていくことを親や先生が意識して働きかけるとよいのでは」

子どもは、国語の授業だけでなく、さまざまな経験や他者とのコミュニケーションを通して、言葉、かたまり、として身につけていくので、言い換えや類語などによって、言葉は辛つづ式に増えていくもの。ただ覚えるのではなく、いろいろな表現を自分の言葉として使えるよう、今、学校の授業も探究型に変わろうとしています。

自分の気持ちをも的確に伝える
そのために語彙力が必要

実は編集室では、世の中が類語を求めているのではないかと、確信を持った出来事があったそう。「5~6年前、「ことは違ひ実用辞典」という小型の類語辞典が爆発的な人気となり、今も順調に売れ続けています。140字以内で投稿するツイッターやメッセージアプリなどで文章をやりとりすることが増え、自分の気持ちにピッタリの言葉を探したい人が増えてきたからかもしれません」と森川さん。

たとえば、「驚く」という言葉には、「驚愕する」「驚嘆する」「仰天する」などの類語があります。「驚く」では足りない「ニヤニヤ」を伝えたいとき、文庫やシチュエーションにふさわしい言葉を選びたいときなど、類語辞典はとても便利です。「言葉選びのスキルは、新学習指導要領が求める「思考力・判断力・表現力」にもつながるので

お話をうかがったのは……

学研プラス
小中学生事業部
図書館・辞典編集室のみなさん



(左から) 入江聖奈さん【英語辞典担当】、森川聡顕さん【国語辞典担当】、鈴木かおりさん【漢字辞典担当】

Q.下の言葉、意味がわかりますか？

人や物の様子や状態、性質、心情を表す言葉
真剣、新鮮、依存、優秀 (4級レベル)
高揚、華美、心酔、果敢 (4級レベル)
謙虚、徳徳、愉快、泰平 (2級レベル)
艶然、鬱屈、狹量、真摯 (2級レベル)
 ※漢字検定の級

▲2級はすべての常用漢字(2136字)が読み書き活用できるレベル。その他の級は漢検ホームページをご覧ください。
<https://www.kanken.or.jp/kanken/>

「ことば選びのまど」が読み書き活用できるレベル。その他の級は漢検ホームページをご覧ください。
<https://www.kanken.or.jp/kanken/>

はないかと考え、小学生向け国語辞典に「ことば選びのまど」という見開きページを設けました」
 国語辞典監修の金田一秀穂先生は「見開きに似たような言葉が並んでいること」によって、楽しい、気持ちを表すけれど、「今の自分の気持ち」を的確に表す言葉はこれだ！」と探し出すことができた」とおっしゃるまで。「類語の一覧を見ること」によって、自分の気持ちに向き合い、整理することができるのです」と森川さん。



▲新レインボウ小学国語辞典に掲載されている、類語をまとめた「ことば選びのまど」。「安心」を表す言葉がこんなにある！ 記述式問題、日記、作文、自由研究の記録などに取組むとき、とても便利

小学生のとき海外で生活していたという堀江さんは「1回エッセイを書いて提出しました。だからみんな類語辞典を持っていましたね。でも、小4の娘の小学校では夏休みの作文の課題すら強制ではありません」と言います。また、「息子が小4のときは、毎日3行日記を書いて提出していました」と鈴木さん。

「類語の一覧を見ること」によって、自分の気持ちに向き合い、整理することができるのです」と森川さん。

「ことば選びのまど」が読み書き活用できるレベル。その他の級は漢検ホームページをご覧ください。
<https://www.kanken.or.jp/kanken/>

辞典編纂者オススメ！ 子どもの「語彙力」を育てるために大切な4つのポイント

1 リビングに辞典や図鑑を置いて！

テレビを見ているときなど、知らない言葉が出てきたときに調べられるように、リビングに辞典や図鑑を置くことよ！。ちなみに辞典図鑑室のみさんがリビングに置いているのは、
 ・地図帳 ・地球儀
 ・歴史の図録 ・辞典 ・図鑑 など
 リビング学習にも役立つそう。パラパラめくだけでもOK！ 子どものふとした興味や関心につながります。

2 辞典を「探究」の入り口に！

たとえば、埼玉県のに「埼」の画数を調べようと言ったとき、「埼」という地名が出てきます。「大炊埜」を国語辞典で調べると、千葉県銚子市にある岬だとわかる。今度は地図帳で「大炊埜」の場所を確認する……このように導くことで調べられる。その子なりの語彙の「かたまり」ができていくそう。「探究」の学びにもつながっていきます。

3 辞典を自分好みにカスタマイズ！

最近の小学生用の辞典はオールカラーでルビ付き。用例などを説明した囲み、イラストや図表などの資料が豊富です。調べた言葉の周辺にある情報を、読み物のように読むのもおもしろいもの。読書が苦手な子どもでも「辞典の囲みのところだけ読んでみたら？ おもしろいことがあったら教えて」とすすめると、イラストや写真に引き寄せられ、楽しく読んでくれるかもしれません。

4 辞典を「読み物」として楽しむ！

最近の小学生用の辞典はオールカラーでルビ付き。用例などを説明した囲み、イラストや図表などの資料が豊富です。調べた言葉の周辺にある情報を、読み物のように読むのもおもしろいもの。読書が苦手な子どもでも「辞典の囲みのところだけ読んでみたら？ おもしろいことがあったら教えて」とすすめると、イラストや写真に引き寄せられ、楽しく読んでくれるかもしれません。